



学校での植樹

すべてのライオンズクラブは自律的な団体です。つまり、各ライオンズクラブはそれぞれ独立した団体として、地域の法規制に従い独自に行事を実施する責任があります。このプランナーは、推奨を提示することを目的としており、法的な勧告やベストプラクティスとしてみなされるべきではありません。このプランナーで示す活動は、地域社会によっては不適切である場合もあります。法規制や安全基準、ベストプラクティスのすべてに確実に準拠するよう、地域の専門家に相談してください。



学校での植樹

この事業プランナーは、地域の学校と協力し、生徒に環境保護、樹木や植物の種の大切さについて教育し、新しく植えた樹木の保護や育成を誓約させる活動を行うクラブを支援するためのものです。

このような事業を実施することで、地域の環境を持続的に保護および回復し、地域社会の健康・幸福を向上するというライオンズクラブの戦略ビジョンを後押しすることになります。

早速、イベントの企画を開始してください。

下記空欄に記入して、イベントの詳細を決定しましょう。

目標 » 青少年に環境保護や樹木について教育する » 地域に適した種の樹木を植える » 今日植える木が地域社会に役立つようにするため、樹木誓約を作成する	実施期間 2日（1日目：教育授業、植樹場所の準備（オプション）、2日目：植樹場所の準備、植樹、樹木誓約）		
	企画所要時間 1ヶ月	開始／終了日 _____	実施場所 <input checked="" type="checkbox"/> 学校

参加対象者 行事への参加対象者を選択します。		
対象者： <input type="radio"/> 児童 <input checked="" type="radio"/> 青少年 <input type="radio"/> 大人 <input type="radio"/> 上記すべて	主催者： <input type="radio"/> 専門家 <input type="radio"/> 学校事務員 <input type="radio"/> 担任教師 <input type="radio"/> 生徒 <input type="radio"/> その他 _____	留意事項： 学校の暦と季節を考慮します： 熱帯では雨季、温帯では休止期（落葉後、萌芽期前）が植樹に適しています

事業に必要なすべてのタスクを特定します。

事業には下記の4つのタスクを必ず取り入れます。

1. 教育授業の内容と補足資料を決定します。

- » プレゼンターは、ライオン/レオが、オプションで教師および/または樹木専門家の意見を取り入れつつ務めます。

プレゼンター：

- a. _____ b. _____

トピック：

- 環境や暮らしにおける樹木の大切さ
- 学校で植樹する樹木の概要
- 植樹の手順
- 幼木の継続的な世話に関する指導

2. 樹木の専門家を選定します。

- » 地元の営林局のスタッフや、公園や奉仕の代表者、樹木育成経験のある地域住民またはライオン/レオのメンバーなどがよいでしょう。
- » 事業計画と樹木の育成活動のすべてを通じて参加する
- » 適切な樹木の種の剪定や植樹場所の決定を支援したり、植樹場所の準備や適切な植樹ができるように生徒を支援したりする
- » クラブがどのように植樹ケアをフォローアップするかについてディスカッションを誘導したり、教材を提供したりする

樹木の専門家：

3. 植樹場所を決定します。

樹木を植える場所を具体的に決定し、樹木を植える前にその場所の土に対してどんな準備を行う必要があるか決定します。

- » この事業の実施許可を学校当局から得ていますか？
- » 動物や子どもたちから樹木を保護する必要はありますか？
- » 地下にパイプやガス管が通っていませんか？
- » その場所は日陰ですか？
- » 土の質はどうですか？

4. 植える樹木を決定します。

樹木種	木の本数	日向または日陰	土の性質	穴の深さ	間隔	世話

イベントでのボランティアの役割を割り当てます。

担当／役割	氏名	連絡先	留意事項
事業リーダー			実行計画のコーディネート、学校との連絡、ボランティアの指導を行うライオン／レオがよいでしょう
学校事務員			<ul style="list-style-type: none"> » この事業への学校参加を承認する » 事業の対象として最適な教師、教室、学年などとクラブの間の連携を図る » 植樹における長期的な世話の責任を把握している
教師			<ul style="list-style-type: none"> » 環境保護や実践的な奉仕に熱意がある » 理科の教師で、カリキュラムに環境的な授業と植樹を組み込むことに関心のある人物（推奨）
地域の救急医療サービス			救急医療が必要となる事態に備え、常に同行する必要があります。
イベント撮影者			宣伝目的でイベント写真の使用を計画する場合、参加者から署名入りの公開承諾書を受取る必要があります。

アクティビティの内容に合わせて青少年と大人の人数配分が適切になるようにします。

ライオンズの人数	
レオの人数	
その他の人数	

推奨されるボランティアの配分*：

- » 11～13歳：生徒8名に対してボランティア1名
- » 14歳以上：生徒10名に対してボランティア1名

*多くの地域政府では、保育職員一人に配分される児童の数を法律で制限しています。いかなる活動においても地域の規制に準拠するように注意してください。



事業を実現可能なステップに整理します。

改善事業リーダーと公共イベントリーダーは、この用紙に記入して進捗を追跡できます。

ステータス	タスク	期限	タスクリーダー	ヒント
×	クラブに情報を伝える			クラブでイベントの情報伝達会議を開く
	イベント名／タイトルを作成する			
	企画委員会の結成			委員会でイベント参加者、活動、タスク、実行計画を決定する
	予算案を作成する			
	資金調達（必要に応じて）			
	地域の学校の事務員に事業について連絡し、対象となる教師と教室を特定する			
	推薦された教師にプロジェクトについて連絡する			教師との緊密な協力を通して、事業を計画し、生徒について詳細を知り、授業を計画し、植樹を企画し、樹木誓約の作成と署名を進行する
	樹木の専門家に連絡する			
	事業のスケジュールを教師と樹木の専門家とともに計画する			
	資材を購入			
	樹木誓約を印刷する			
	適切な保険に加入する			<p>保険または補完保険の証書の要否については、監督官庁にご確認ください。</p> <p>すべてのライオンズクラブに提供される一般賠償責任保険のポリシーの適用範囲に関する質問は、http://lionsclubs.org/pib-en にアクセスして、プログラム保険冊子を確認してください。</p>
	植樹場所にどのような準備が必要となるか評価する			
	イベント実施後に改善点を話し合う慰労会を企画する			検証質問を活用して話し合います。



事業の予算を決定します。

イベントの予算決定にはこのワークシートを利用できます。

説明	数量	費用	経費 合計	現物提供/ 寄付	収入	残高
教育						
教材						
機器						
シャベル/移植ごて						
じょうろ						
手袋						
バケツ						
レンタル料金 (必要に応じて)						
マーケティング						
宣伝材料						
樹木						
その他						
水/軽食 (オプション)						



事業の成果を評価します。

イベント企画委員会を再召集し、成功を祝い事業報告を行います。

成果の評価			
事業評価			
18歳未満の奉仕者人数		非会員のボランティア参加人数	
18歳以上の奉仕者人数		奉仕総時間数	
ボランティアに参加したライオンの人数		事業の企画/資金調達に要した総時間数	
ボランティアに参加したレオの人数			
事業の検証			
1. 青少年に環境保護や樹木について教育できましたか？			
2. 地域に適した種の樹木を植えることができましたか？			
3. 生徒たちは樹木誓約に署名しましたか？			
4. 最大の成果は何ですか？			
5. 最も難しかったことは何ですか？			
6. このイベントを再び実施しますか？			
7. どこを改善しますか？			

樹木は地域社会にとって重要な要素となりますが、樹木育成によって個々の住民に対して直接奉仕することにはなりません。奉仕対象者の人数を計画または報告する際は、この事業を通して教育することができた人数を考慮します。世話した樹木1本あたりで奉仕できたであろう対象者の人数を推定したりしないでください。



樹木誓約

私たち、（学校名） _____ の生徒および教員は、（日付） _____ に
植えた（数字） _____ 本の木を育成することに同意します。

実行内容：

1. 保護：幼木の間、バリアで保護する必要がありますか？ 低学年の子どもや動物が木を破損する可能性はありますか？

例：周囲に保護フェンスを張って動物被害から保護します。苗木が十分大きくなって動物に食べられる心配がなくなったら、フェンスを取り外します。

2. 水やり：どのぐらいの頻度で水やりが必要ですか？ 誰が水やりをしますか？

例：週に一度、午前中に水やりを行い、約20cmの深さまで土が湿った状態を保ちます。クラスで毎週2人の生徒が当番で木を確認し水やりをする計画を立てます。

3. 指導：環境や樹木について学んだことを学校の他の生徒や地域住民にどのように伝えていきますか？

4. 支援の要請：植えた木に元気がなかったり、成長していなかったりしたら、誰に助けを求めますか？

例：地域の営林局に連絡し、代表者が学校を訪問して樹木を確認するように依頼します。

樹木誓約署名：

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

» _____

